

ニューヨーク育英学園のニュー
ジャーキーキャンパスでは、10
月7日（日）に、毎年恒例のバザ
ーが行われました。

朝早くには霧雨が降り、天気か
心配されましたが、昼ごろには太
陽がまぶしいほどしっかりと顔
を出し、気持ちのいい秋晴れの中
の開催となりました。開始前から
来場者の長蛇の列が1ブロック先
までできるほど、多くの人が訪れ
ました。園舎内では、バザーに協
賛する日系企業のブースや、雑貨
コーナー、衣類コーナーの他に
も、恒例の親子体力測定会も行わ
れ、自慢の筋力を披露するお父さ
ん、お母さんや子ども達の笑い声
がこだましました。園舎裏庭には
フードコートが設置され、企業寄
付の食品に加え、地域企業からの
カレーライス、豚汁、菓子パン、
学園保護者や職員によるコーヒ
ー、綿菓子、ポップコーンが出店
し、こちらも多くの人で賑わいま
した。また、学園の全日制児童会
主催の「育英っ子祭り」が企画さ
れ、くじ引きの出し物でバザーに
花を添えました。今年のアートコ
ーナーでは、「ハロウィーンの風
船おぼけを作ろう」が行われ、参
加者の子ども達が作ったかわいい
風船やちょっと怖い風船のおぼけ
が、学園中をフワフワと泳ぎ、秋
の彩りに色を添えていました。

大勢の保護者ボランティア、育
英サタデーNJ校中学生のボラン
ティアの協力を得て、会場は、最
後まで熱気につつまれ、楽しいバ
ザーとなりました。バザー収益金
は学園施設充実および奨学金にあ
てられます。



奨学金基金&寄付金

企業・個人の皆様

ANDO CHIROPRACTIC, LLC.
ALICE CORPORATION
NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL U.S.A., INC.
Y'S PUBLISHING CO., INC.

ISHITANI HEALTH CENTER
MS. HIOE, CATARINA
LEMOINE DENTAL GROUP, LLC.
MARUBENI CITIZEN-CINCOM INC.
MR. OKAMOTO, TORU & MS. OKAMOTO, RIEKO
MR. SAKURAI, MOTOATSU & MS. SAKURAI, NOBUKO
MS. SHIMAZAKI, RISA
MR. SUGAHARA, KAYTARO G

ADVOCARE PEDIATRIC OPHTHALMOLOGY ASSOCIATES
MR. AKIYAMA, SHINYA & MS. IKUI, AMY EMI
AMAZON.COM, INC.
AMERICAN JAPAN KARATE ASSOCIATION, INC.
MR. BERNSTEIN, JAY & GEHRIE, HOLLY
DAICEL CHEMTECH, INC.
DAIWA CAPITAL MARKETS AMERICA INC.
MR. DOI, SHINICHI
HIMAWARI CLASS 2017
KATSUKO SALON INC.
KELLY'S AUTOMOTIVE SERVICE INC.
MS. KORN, CHIZUKO
M.D. KUWAMA, YUICHIRO & M.D. KUWAMA, CHIKA
NIPPON KAIJI KYOKAI
NISSIN INTERNATIONAL TRANSPORT U.S.A., INC.
MR. NOZAKI, TOSHIRO & MS. NOZAKI, KUMIKO
MR. OKAMOTO, HIROHARU & MS. OKAMOTO, SHIGENO
PARKWAY TOYOTA
SCHEPISI & MCLAUGHLIN, P.A.
SOJITZ CORPORATION OF AMERICA
SUMITOMO REAL ESTATE SALES (N.Y.), INC.
TREND POT NY, LLC.

AMNET NEW YORK, INC.
ANTAO & CHUANG, ATTORNEYS AT LAW
BERGEN PROTECTIVE SYSTEMS, INC.
MR. LEE, CHIAO-WEI & MS. HAGISHITA, HIROKA
OVERSEAS JAPANESE FAMILY DENTAL, PLLC.
REALTY INTERNATIONAL, INC.
SUPER QUALITY OIL CO., INC.
SYLVAN AUTO REPAIRS, LLC.
THE BOGLE AGENCY, INC.
MS. YOSHIMATSU, IZUMI
ZIMICK BROTHERS CLEANING SERVICE



品物

企業・個人の皆様

ANDO CHIROPRACTIC, LLC.
BENJAMIN STEAKHOUSE
BROTHER INTERNATIONAL CORPORATION
CANON U.S.A., INC.
DAIKIN U.S. CORP.
DAINOBU USA, INC.
DEL'S PEST ARREST INC.
MR. DOI, SHINICHI
ISHITANI HEALTH CENTER
ITO EN (NORTH AMERICA), INC.
KOKORO INTERNATIONAL
LA RIPAILLE RESTRANT
MASER DENTAL GROUP
MCDONALD'S / DAMIANO MANAGEMENT CORP.
METROPAGES, INC.
NEW YORK MUTUAL TRADING, INC.
NHK COSMOMEDIA AMERICA, INC.
NIKON INC.
NIPPON EXPRESS USA, INC.
PEKING DUCK HOUSE
PENTEL OF AMERICA, LTD.
SOJO SPA CLUB
SUSHI SEN-NIN@33
SYLVAN GRACE FLORIST
THE MENTHOLATUM COMPANY
THE TAKESHIGE FAMILY
TIC AKEAN GROUP
TOKYO-FROST VALLEY YMCA PARTNERSHIP
TOLEDO RESTAURANT
YAMASA CORPORATION USA
YAMATO TRANSPORT U.S.A., INC.
Y'S PUBLISHING CO., INC.

出店企業の皆様

AMNET NEW YORK, INC.
IACE TRAVEL
KOSAKA'S KITCHEN, LLC.



お問い合わせ／ファンドレイジング担当：半場 綾子



① Japanese people used to plant the tiny seedlings one by one like this.
② You need patience to grow rice in the traditional way.
③ ④ In this small rice field that our teachers made, we'll grow delicious rice!
⑤ This is a lot of work. It's too hot and I'm covered in mud.



⑥ ⑦ Look! Those tiny seedlings became this big!
⑧ It's so heavy with lots of ripe grains.
⑨ Yay! We had a good harvest!



⑩ What!? Is this all we got?
⑪ We had so many crops though.
⑫ It's amazing that it required so much care and hard work to grow these tiny rice grains.
⑬ (so smooth) ⑭ (so shiny)



⑮ I can taste each grain of rice.
⑯ I'm moved by the deliciousness of this rice.
⑰ It's interesting to see all of your faces starting to resemble the rice balls.
⑱ (so warm)
⑲ Mmmm, it's so heartwarming.
⑳ Once again learned about the importance of cooperation and harmony at Japanese Children's Society!

BY コマタキレコ (KIREKOKOMATA)



いつもエキサイティングな NY 育英



ニューヨーク育英学園 Englewood Cliffs の
学園舎内には、夏休みの自由研究の作品展が
9-10月中旬まで開かれていました。各校
から集まった優秀作には「いいですねシール」
が貼られており、全日制部門に限らず、サタデー
スクール、サンデー、アフタースクールの子ども
達の励みになっているようです。将来これらの児童
の中からノーベル賞受賞者が現れるのも夢では
ないでしょう。

(p.13 参照)
去る7月のサマーデイキャンプには今年で6
年目になる東北からの小学生招待プログラムが
ありました。被災地支援プログラムとして今年も
2人の女子小学生がデイキャンプとホームステイ
を通してアメリカの生活、自然を充分満喫して
楽しんでいきました。(p.11)

8月には3年に一度の全日制部門の同窓会が
東京で開かれました。元園児児童、元職員の出
席もあり、計170名の懐かしい顔に会えたのは
何よりもうれしい事で、学園の創立時から携
わっている私、園長としては至福の時でありま
した。(p.14)

第1学期(春)には全日制3・4年生による
カブトガニ観察と農業体験の旅行。5・6年生
にはボストン方面(含、ジョン万次郎の家小
学校訪問)カワシントン方面の移動教室があ
ります。第2学期には幼児部年長組園児によ
る森のキャンプお泊り保育が人気です。小学
部1・2年生にはファームステイで農業体験学
習がありどのクラスも宿泊体験により益々親
密になります。20人前後のクラスの団結がで
きてきます。子ども達にとってはいつもがエキ
サイティングな毎日で登園登校が楽しみにな
ります。(p.2)

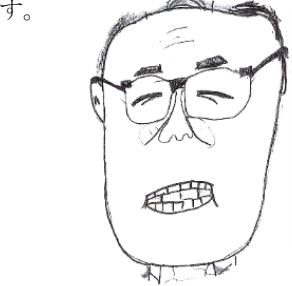
さらに9月に入ってはスペインのセビリヤ
地方から中学生高校生の歌姫達が来園し、国
際交流会が持たれました。(p.7)

クロスメソッドによるソフトランディング

さて NY 育英全日制部門では、まずは日本
以上に日本語を学びます。そして週10時間
の英語教育を導入したクロスメソッドにて日
々バイリンガル教育にあたっています。学園の
英語で自信ができた子ども達はある程度のレ
ベルになると現地校で挑戦したくなります。
そんな時、学園としては「頑張れ！」と送り
出します。と同時に日本語の教育には学園の
サタデースクール、サンデースクール、そし
てアフタースクールを勧めます。日本での1
週間分の勉強を1日で吸収するのは大変です
が本学園の先生たちは実に見事に成し遂げま
す。集中力がつくように指導しています。私
が日本へ帰った子たちの学校訪問をすると、
担任の先生がその子が海外にいたことに気
付いていなかったりするくらいに順応してい
てほしいです。

受験では、全日制、その他の部門に関わら
ず英語に強いところが有利に働き、うまくい
っていることを聞き安心します。

しかしいきなり現地校へ入った場合、子
ども達の現地校でのストレスは大きく、大人
にはわかりません。学校になじめずに情緒不
安定になる子、帰国までずっと ESL のクラ
スにしかいなかった子もいます。保護者が現
地校の経験があるわけではないので、子ども
達も悩みはわかってもらえないからと話した
がりません。リスクのないアメリカ生活を
迎えるためには、まず渡米が決まった時点
で本学園のホームページをご覧になって下
さい。そして学園へ連絡して下さい。お勧
めは、日本から来た時にはまずは本学園全
日制の幼児部小学部を利用して日本語を
ベースにした生活で足を地に着けてくだ
さい。その子その子の性格により語学の
習得のスピードは違います。子ども自身
が毎日の英語である程度英語に自信を持
ち、自分から行きたいと言い出すのを待
って下さい。泳げるようになってから遠泳
大会に出るほうがいきなり放り出される
より良いのは明らかです。急がば回れで
す。どの子も健やかに成長していってほ
しいものです。



絵(学園長似顔絵)
二〇一八年度
NJキャンパス全日
制
小学部第五学年
フレイク
怒那

帰国のソフトランディング

それから日本への帰国前にも本学園で、
「日本語の環境と習慣に慣れてから帰ったほ
うが良い。」との経験者の弁です。サタデー
スクールのアートの日でも、「現地校では絵
の具を使ったことがなかったからよい経験だ
った」とよく言われます。また「体育の時
間があるのは助かった。現地校では縄跳び、
跳び箱や鉄棒での逆上がりなどもなく、NY
育英で帰国準備したので、日本へのソフト
ランディングになって助かった」と帰国した
親子からよく言われます。

これからお子さん達を呼び寄せるお父
さん、帰国が近いファミリー、本学園に
興味のある方はオープンハウスに限らず
いつでもどんでん見学にいらしてください。
そして当地アメリカ東海岸の素晴らしい
環境での海外生活を家族全員で楽しみ、
より多くの良い思い出を作ってください。
皆さんのご来園を心よりお待ちしております。



ニューヨーク育英学園学園長

岡本 徹

～今号の目次～

P.1 学園長よりご挨拶

全日制部門より

P.2 NJキャンパス全日制部門からのお知らせ

P.3 フレンズアカデミーよりお知らせ

P.4-5 NJキャンパス全日制英語科特集

P.5 NY育英学園職員ペンリレー

P.6 2019年度NY育英学園全部門募集要項・

登録要項発表！

P.7 スペイン「トマレス少女合唱団」との交流

P.8-9 JCSのご案内

2018年度スキーのお知らせ

育英サマー各部門より報告

P.10 NJサマーデイキャンプ

レイクグリーリー宿泊キャンプの報告

P.11 第6回アメリカサマー留学～東北・九州被災地

支援招待企画2018～報告

P.12 りんごラニングセンターサマー報告

フレンズアカデミーサマー報告

P.13 NY育英学園夏休み自由研究作品合同展示会

報告

P.14 NY育英学園全日制ファミリー同窓会報告

P.15 シリーズ「先輩から一言」

P.16 NY育英学園ファンドレイジング

&育英バザー報告

4コマ漫画(作：コマタキレコ)

生きた学習（幼小宿泊体験学習）

— NJ キャンパス全日制 —

今後の教育において重視されなければならないのは、ヒト・モノや実社会に実際に触れ、五感を通じて何かを感じ、学ぶ取り組みとなる「直接体験」であると考えます。そこで、本学園全日制では、幼児部から小学部まで、「直接体験」を中心とする多くの体験活動を実施しています。特に、幼児部年長組から小学部6年生までは、学外での集団宿泊活動をカリキュラムに取り入れ、学習活動を展開しています。前号での小学部5・6年生移動教室に続き、幼児部と小学部での宿泊体験学習について活動の様子を紹介します。

学力の基盤となる体験

体験活動と言語活動

集団宿泊活動で育てる力

体験に裏打ちされた「生きた学習」

豊かな心を育む

幼児部お泊り保育

森のキャンプ

***日 程** 1泊2日

***行き先** NJ近郊のキャンプ場

全日制幼児部年長組が7年前より始めた保育です。年長園児を対象に、場所を変えて毎年8月末に実施しています。

宿泊はキャンプ場内のキャビンです。各部屋に分かれて、友達と2日間を過ごします。森を散策しながら、虫や草花、木、鳥のさえずりなど、自然を全身で見て、聞いて、感じます。夕飯は、みんなで協力してカレー作りに挑戦します。クラスの友達と揃って食べる初めての夕飯では、「毎日ここでカレーを作りたい。」と、いつもと違う環境を楽しむ様子が見られます。

薄暗くなった頃には、恒例のキャンプファイヤーです。森の中から「火の神」が現れ、薪に点火。炎を囲んで歌を唄ったり、一日を振り返ったりします。終わりに、小さくなった炎の中にサツマイモを入れて焼き芋を作り、味覚でも自然の甘さを堪能し、日が沈み辺りが暗くなるまで戸外での活動を楽しみます。一日キャンプ場を縦横無尽に走り回っていた子どもたちはクタクタになり、消灯後まもなく施設内には子どもたちの寝息が響きます。

2日間寝食を共にして体験を共有することで、協調性や仲間としての絆が以前より深まります。親の心配をよそに、子ども達は自主的に行動し、一つひとつのプログラムをととても楽しんでいます。

この宿泊行事を通して、助け合い、我慢、頑張る力をつけ、園児たちはひと回り成長します。学園に帰着した年長児は、達成感に満ち、頼もしさすら感じます。



小学部 1・2 年移動教室

ファームステイ

***日 程** 1泊2日

***行き先** NJ・NY近郊の農場

自然の循環や命のつながりを理屈ではなく心と体で感じることでできる体験の場となっています。

1・2年生の子どもたちが縦割りのグループに分かれ、農場内の広大な300エーカーの敷地内にある民家に分宿して農場生活の体験学習を行います。

農場に着くと、子どもたちは、オーナー夫妻の出迎えを受けた後、「とうもろこしの皮むき」「広大なトウモロコシ畑でのコーンメイズ（迷路）」「動物たちへのえさやり」などの様々な活動に挑戦します。ヘイライドに乗ってコーンメイズに向かう中、広い草原と澄み渡る青空の絶景を見た子ども達からは歓声が上がリ、「こんなにいっぱいこのトウモロコシを初めて見た。」「空が広い。」「色々な動物があっちにもこっちにも楽しそうに暮らしているの見える。」などの声が聞かれます。農場の朝は起床も早く、朝食の前に、子牛たちに朝ごはんのミルクをあげて、「鶏の卵集め」「乳絞り」を体験します。他にも、農場での思い出を風になぞって描き表し、広大な自然の中で思いきり走り回って行う風揚げや、農場でのバター作りなどの活動も行います。

子どもたちは、農場の人々の仕事を知り、普段の生活では考えることの少ない、命のつながりや尊さ、大切さを、農場での体験学習を通してしっかりと学びます。



小学部 3・4 年移動教室

カブトガニ観察と農園見学・体験

***日 程** 2泊3日

***行き先** デラウェア州ドーバー近郊

デラウェア州ドーバーは、アメリカ独立以前よりヨーロッパの入植者がコロニーを形成した地です。また、カブトガニが、5・6月に産卵に訪れることで世界的に有名です。そして、その卵を餌とする多くの渡り鳥たちの中継地点でもあります。

学園を出発後、ニュージャージー州ケーブメイからフェリーに乗り、イルカの群れを観察しながら、デラウェア州に渡ります。

ドーバー市内でアメリカの歴史について学んだ後、現地のネイチャーセンターを訪れ、カブトガニと渡り鳥についての学習を行います。そして、カブトガニの産卵のピークを迎える時間帯には、海岸に移動します。海岸では、現地の自然観察員と高校生のボランティアから指導を受けて、産卵後のカブトガニの様子やカブトガニの数え方、タグ付け作業、砂の中に産み付けられた卵を実際に手に取って見る等、保護活動の貴重な体験をします。「生きた化石」とも呼ばれているカブトガニの生息数は減少傾向にあり、絶滅寸前の地域もあります。2億年を生き延びてきたカブトガニにとって一番の天敵は、彼らの卵を食べる渡り鳥たちでなく、実は彼らの生活環境を奪う人間です。カブトガニと渡り鳥が生き延びようとする姿に直に接することで、命の尊さを実感し、また、環境を守ろうとする姿勢を培います。

また、日本の野菜を有機農法で育てている農場「スズキファーム」を訪れ、有機農法や作物の選び方、土作りなどについての話を聞き、畑でピーマンやキュウリの収穫を体験します。その日は獲れたての野菜を使い、バーベキューをして、子どもたちは、ふだん何気なく食べている野菜が、さまざまな工夫や努力の元に育てられていることに気づくようになります。

3日間の宿泊学習を通して、「生命の繋がりと尊さ」、「食糧に対する恩恵」、「アメリカの産業と文化」について深く学ぶことができます。



シリーズ～先輩から一言～

弁護士 辻山 尚志 さん



私は、1982年、2歳のころ、石油会社に勤める父の仕事の都合でニューヨークに引っ越しました。それから約2年間、弟とともにニューヨーク育英学園にお世話になりました。当時は「よい子の学園」という名前だったので、今でも我が家では「よい子の学園でこんなことがあった。」等と昔話を懐かしく思い出しています。家族とともに日本に戻ってからもう35年も経ちますが、岡本先生と両親との親交は続き、今回、岡本先生が両親を訪ねてきてくださった際、この「先輩から一言」のコーナーのお話をいただきました。遥か昔に2年だけ在籍していた私が、今学園で頑張っている皆さんのお役に立つ話ができるかはわかりませんが、少しだけ「よい子の学園」での思い出をお話しさせていただきます。

ニューヨークと聞いて思い出す情景は、日本では考えられないような広いマンション（当時住んでいたマンションは220平米あったとか）や、エンパイアステートビル、公園の砂場で遊んだことなどです。なにしろ2歳から4歳と、ほとんど記憶がない時期なので、それらの情景が帰国後に当時の写真やビデオを見て作られた記憶なのか、実際の体験の記憶なのかははっきりしません。

当時のことを両親に聞いてみると、当時の学園はマンハッタンのご真ん中にあり、私のマンションは学園のあるビルと同じビルの中にあったようです。エレベーターに乗るだけであつという間に学園になってしまうのですから、私の両親からすればそんな楽な話はないですね。マンハッタンの中という場所柄、保護者の方々は芸術家やレストランの経営者の方などが多く、その影響もあつたのか学園では英語はもちろん、絵画、楽器、踊りなど様々なクラスがあり、ニューヨークで活躍するプロや、プロの卵のような専門的な先生がクラスを担当してくれていたようです。両親の話では、当時の学園は小規模で非常に家庭的な雰囲気だったそうです。今回、岡本先生にパンフレットやカレンダーなどをみせていただきましたが、規模は大きくなってても家庭的な雰囲気は変わっていないようです。嬉しくなりました。

アットホームな学園の雰囲気は保護者同士の関係でも同じで、我が家でも学園の友達の家族を迎えてよくホームパーティーを開いていたようです。その時は日本から持参した自

参した自動餅つき器が大活躍したとか。今と比べてまだまだ日本人が少なかった当時のニューヨークで、学園の中でも外でも、みんなで知恵を出し合って助け合っていたようです。その中心にあったのが、よい子の学園でした。

学園ではたくさんのことを学ばせていただきましたが、私にとって特に大きな財産となったのは日本語のクラスでした。海外にいても日本語の言語の幹をしっかりと育てることが思考の基礎と深さに繋がるという当時の学園の教育ポリシーのもと、日本語をみっちり教えていただきました。帰国後は、現地の学校で英語漬けにできなかった両親に不満を持った時期もありましたが、2歳から4歳という重要な時期に日本語の学習をしっかりできたことは、その後、論理的思考力やコミュニケーション能力を向上させる上でも良かったのではないかと今では思っています。また、日本語で考え、議論を交わし、人を説得し、難しいことをできるだけわかりやすく伝える文章を書くという弁護士に必要な能力の素地が作られたのも、このときの学園の教育のおかげなのではないかと思っています。

それと、私は高校生のころから自由思想や人権思想に興味を持つようになり、それが弁護士を志すきっかけになったのですが、そういう考えを持つようになったのも、学園にいたころにたくさんの個性を持つ方にお会いし多様なカルチャー、考え方に触れることが影響しているのではないかと思います。目立つことが決して良いこととされず、目に見えない同調圧力が蔓延する帰国後の日本での生活の中でも、それに違和感を抱き、個性・自由を尊重して多様性を認めることの大切さを忘れなかったのは、学園での生活があつてこそだと思っています。

いま、弁護士になって10年目になります。企業間の契約書の確認やトラブルの処理（企業法務といえます）や、個人の方の相続や離婚問題など（一般民事事件といえます）、色々な事件を扱っています。契約書の確認や国際的な家庭の相続問題で英語を使うこともあります。人と争う（敵がいる）という特殊な仕事ですので、人に恨まれることや怒鳴られることもあります。でも、苦しい立場にある人をその置かれた状況から救い出し、本来の姿・権利を取り戻してあげることもできるのが弁護士という仕事です。責任の大きい仕事ですが、その分やりがいも大きい仕事です。弁護士の仕事をしていると、ただ法律の知識・情報を提供するだけではダメで、自分の頭で考えて戦略的に事態に対応する能力が求められていると感じます。それと同時に、自分の考えを押し付けるのではなく様々な悩みや苦しみを持つ方の状況を理解しそれに寄り添える共感性が大切であると思っています。

残念ながら、学園で過ごした2年間のみで英語がペラペラになったわけではありませんが、学園での生活はそれ以上に大切な今の私の基礎の部分を作ってくれました。ちなみに

ープロフィールー

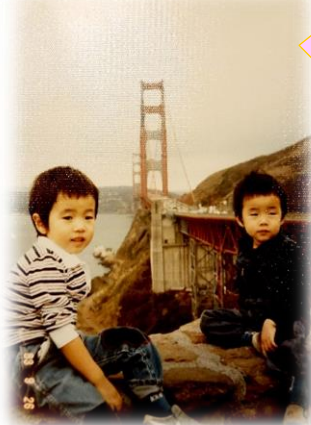
早稲田大学卒。都内法律事務所勤務後、2013年に「辻山・五十嵐法律事務所」を設立。「共感性、発想力、行動力」をテーマに、一般民事事件、企業法務を幅広く取り扱う。

2歳離れた弟は、帰国後ミネソタに留学し、今はドイツの大学で経済学の教員をしています。学園生活が弟にどんな影響を与えたかはわかりませんが、楽しかった学園での思い出が海外に飛び出す勇気を与えてくれたのかもかもしれません。

めまぐるしい勢いでIT技術が進歩し、もう遠くない未来に、ほとんどタイムラグがなく、違和感もなく、日本語を英語に翻訳するアプリケーションが開発されるのではないのでしょうか（もうそういうものが出始めています）。昔のように英語が話せばいい大学や会社に入れるという時代は終わりになるのではないかと思います。知識もそうです。どんなことでも瞬時にインターネットで検索して知識を得られる時代が到来し、「知っている」ということの価値は昔に比べて落ちてきています。

皆さんは、いま学園で一生懸命英語の勉強をしていると思います。それはもちろんとても大切なことで、将来どのような分野に進むとしてもきっと大きな武器になってくれると思います。でもそれと同じくらい、皆さんがニューヨーク育英学園で出会った人やいろいろな考え方、自分と違う文化や考えの人と接していく経験から学んだことは、皆さんの貴重な財産になってくれると思います。「外国」で暮らすというなかなかできない貴重なチャンスですので、この機会にたくさんの人と出会い、積極的に色々な経験をして頂ければと思います。優しく、強く、柔らかい心を持ち、自分で考え、その考えを積極的に発信し、言語の壁を越えて世界中から必要とされる、本当の意味での国際人になってください。応援しています。

最後に、初めての海外生活で右も左も分からなかった私の家族に、よい子の学園の創始者である故丹羽先生、現理事長の岡本先生には本当に親切にして頂いたと聞いています。本当にありがとうございました。35年前の家庭的な雰囲気はそのままに、今では全米屈指の日本人教育施設に発展したニューヨーク育英学園のますますの発展を祈っております。



一九八三年
弟と一緒に

ニューヨーク育英学園 ファミリー同窓会

8月4日、NY 育英学園全日制部門の同窓会が代々木のオリンピック記念青少年総合センターにて開かれました。

猛暑の中、岡本徹学園長と川吉里季同窓会会長の下、3年に1度の同窓会には約170人が集い合い賑やかな会となりました。現職の幼児部担任より先生の楽しい司会と元職員や先生達のヘルプもあり、全員和気あいあいな雰囲気を楽しみました。

NY 育英学園の前身「よいこの学園」時代の卒園児4人が母となって、子連れで受付けを買って出るほほえましい姿もありました。

岡本学園長からは、来年、学園が創立40周年を迎える事や現在NJのイングルウッドクリフスとフォートリー校、マンハッタンのサタデースクールとフレンズアカデミー、又ポートワシントンサタデースクールなど、現状の報告や学園オリジナルの英語教授法クロスメソッドの説明がされました。

中高生、大学生達は今通っている学校でのでき事を紹介、懐かしいNY, NJでの思い出を発表しました。各ファミリーからはアメリカから帰って感じた事や育英での思い出、今の生活、今後の予定などが発表された。後半には各時代、各世代のグループに分かれて昔話に花が咲いていました。

最後には学園歌の斉唱、クイズゲームもあり、打ち解けた雰囲気の中、幼児から大人まで学園のTシャツ、学園グッズを手に入れて歓声が上がっていました。

九州や北海道から来たファミリーやシンガポール、フィリピン、ニューヨークからの一時帰国組も多くいて、記念撮影の後皆次の同窓会での再会を誓い合っていました。

参加者からのコメント①

同窓会を開催して頂き、また楽しい時間を過ごさせて頂き、ありがとうございました。二年振りに学園長先生や友人達と再会出来、息子は本当に嬉しかったそうで、元気を頂きました。息子は中学二年生になり、思春期真っ只中、きっと楽しいことばかりではない毎日だと思いますが、NY 育英学園で過ごした時間や、みんなとの思い出が、これからも彼を支えていてくれると思います。また皆様に再会出来る日を楽しみにしています。

(卒園生保護者 西田 三貴子様)



参加者からのコメント②

1991年の小学四年生の二学期から1994年の卒業まで弟とENGLEWOOD CLIFFSのNY 育英学園に通っておりました。今回、ファミリー同窓会のお知らせを頂き、卒業してから25年ぶりに同期5名で集まることができました。園長先生も変わらずお元気で、小学校6年の担任のヤング先生がまだ在任されていると伺い懐かしく思い出されました。旧友と昔の写真を見ながら、運動会、仮卒業式、林間学校、卒業制作のトーテンポール、放課後の野球、先生方の話など、昔話に花が咲きました。

当日は自分の子供と同じ歳のお子さんが多数いらっしゃり、NY 育英学園の歴史を感じ、自身もその一員であることがとても嬉しく感じました。また3年後のファミリー同窓会も今から楽しみにしています。

(1994年卒業 富崎【旧姓 武盛】景子様)



【同窓会に関するお問い合わせ先】
Dosokai.zennichi.nyikuei@gmail.com

同窓会会長からのコメント

先日はお忙しい中、第25回ニューヨーク育英学園ファミリー同窓会にご参加いただきありがとうございました。改めて厚く御礼申し上げます。

手さぐりで始めた世話係でしたが、リピーターも増え、同窓生や元職員の方が二世と一緒に参加する微笑ましい様子もあり同窓会が益々盛んになるのを実感しています。そして様々な世代の同窓生や保護者の方々と交流の時間を共有できたことを大変嬉しく、また皆様の近況報告に胸温まるような気持ちでいっぱいになりました。

今回の同窓会の様子を学園ホームページ「同窓会情報」にて載せさせていただきます。

同窓会日本支部は3年後の2021年を予定しております。日程などの詳細はホリデーカードや、学園ホームページにてご参照ください。

皆様にまたおめにかかれることを楽しみにしております。皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

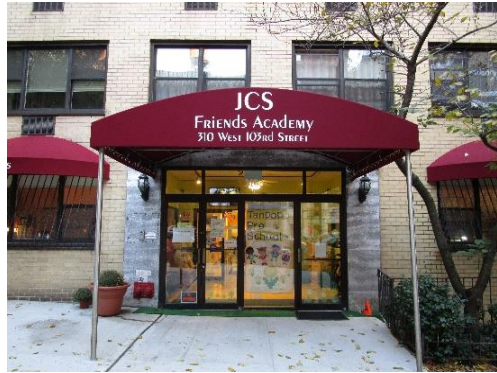
(同窓会日本支部会長 川吉 里季)



お問い合わせ/同窓会担当：岡田 幸子

フレンズアカデミー・4周年目を迎えて

フレンズアカデミーはマンハッタン・ミッドタウン (343 Lexington Ave.) からアッパーウエスト (103rd St & Between River side Dr. and Westend Ave.) の新校舎に移転して4周年目を迎えます。



2015年9月の移転当初は数人の園児からスタートしたフレンズアカデミー全日制たんぽぽ幼稚園でしたが、今ではたんぽぽ幼稚園パートタイムプログラム、親子教室、幼児教室の他に、幼児を対象とした放課後の日本語基礎教室、小学生以上を対象とした国語算数教室、英検対策講座、アフタークラス（うんどうクラブ、書道教室、音楽教室）、それに加えて土曜日、日曜日のウィークエンドスクール（幼児部・小学部）と拡大を続け、フレンズアカデミー全体の現在籍者は総勢200名を超えるようになりました。



この他に専門の講師を招いての書道ワークショップ（オリジナルのTシャツやカレンダー作り）、子育て支援講座の一環としてのお弁当作り講座、ニューヨークで子育て中の保護者を対象とした子育て支援広場「ぼっぼ」などマンハッタン界隈の日本文化の発信地としての活動を数多く行っております。



ここで全日制たんぽぽ幼稚園の特徴について以下にご紹介いたします。

①たんぽぽ幼稚園では、アメリカの幼児教育カリキュラム、ティーチングユニット、トピックスを取り入れながら日本語で活動を実践しています。そして、遊びを通す中で、アカデミックな内容が学べるようにカリキュラムを組んでいます。



②探求心を掻き立てるような小さなグループに分けた活動を推奨しています。また集団活動が学べるよう、折り紙、製作、リズム体操などを一斉活動の中で行います。



③年間のテーマを設けてカリキュラムを作成しています。2018年のテーマは「身近にあるサイエンスを探そう」日常の遊びや活動の中にサイエンスの学習に繋がる要素をたくさん取り入れています。2018年度に学んだ内容は以下の通りです。

- ★磁石の性質（鉄の性質）
- ★物の重さ（質量・容量の概念）
- ★色の三原色（色の組み合わせ）
- ★月の観察（満月、半月、三日月など）
- ★水のサイクル（水の循環システム）
- ★植物の生長（発芽、生長、種子）



将来の展望について

今後はマンハッタン地区において、日本語・日本文化、日本人コミュニティの発信地としての役割を担っていきたいと考えております。そのためには、たくさんの人々が集う場でなければならないと思います。

今後も充実した教育活動は元より、積極的な地域イベントの企画・運営を拡大していきたいと思っています。



↑子育て支援広場「ぼっぼ」の様子。

月に一度金曜日に親子で参加するイベントとなっています。子育て中の親同士が情報交換を行うコミュニティの場となっています。

また、地域のコミュニティと融合する中で、アメリカ人や様々な国から来た人々に日本文化を発信する場としての役割も担っていきたいと思っています。「日本人とアメリカや様々な国の人々との文化の架け橋になる。」そんな理想を持って日々、活動を続けています。



↑6月10日（日）に行われた書道のワークショップ（オリジナルTシャツ作り／講師：阪上眞澄）の様子。

フレンズアカデミー近隣に住んでいる方が多数参加しました。

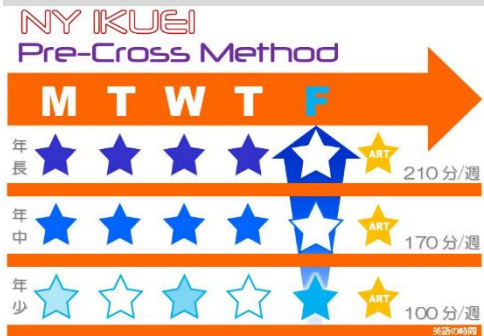
今後、フレンズアカデミーがマンハッタン地区において日本人コミュニティの発信地・中心地となるようスタッフ一丸となつて、尽力して参りたい次第であります。そのためにも、常日頃より地域コミュニティとの関係・連携を構築し、協力体制を築き上げていかなくはいけないと考えています。

お問い合わせ/フレンズアカデミーディレクター：河野 茂

NJ キャンパス全日制の英語教育 幼児部の英語

NY 育英プリクロスメソッド 2年目を迎えて

NY 育英プリクロスメソッド



NY 育英学園全日制幼児部では、開設当時から、子どもたちが人格形成や親との絆を作るのに大切な幼少期に、日本語を母語として定着させることを第一目標としてきました。同時にアメリカ当地にある日本人学校として、地の利を生かし、ネイティブ英語講師による英語学習の時間を設け、英語や異文化に慣れ親しむ環境作りも大切にしてきました。近年は、母語教育を中心しつつも、より積極的に早期のバイリンガル教育を取り入れるようになり、英語に触れる時間を段階的に増やし、2017年度からは、幼児部にも毎日の英語を導入し、「プリクロスメソッド」と名付けました。

毎日の英語の成果

昨年度改定したプリクロスメソッドは、年齢に応じて徐々に英語での活動の時間が増えるカリキュラムとなっています。年少組は、ネイティブ英語講師による英語の時間を毎学期1回ずつ増やし、3学期には週3回の英語の時間があるほか、毎日朝の自由遊びの時間に英語講師が入ります。年中と年長組は、月曜から木曜まで週4回英語の時間があるほか、金曜日はバイリンガルの時間として、日本語での活動に英語でのアシスタントが入ります。さらに、全クラス英語講師とのランチおよび自由遊びの時間を設け、普段の生活の中で子どもたち一人一人が英語で会話をするチャンス을設けています。

子どもたちは、毎日英語講師たちと過ごすことで、この一年で英語に対するポジティブな姿勢が培われ、英語講師たちと廊下などで会った時も、積極的にコミュニケーションしようとする姿が以前より、より見られるようになってきました。また、NY 育英学園のバイリンガル教育の特徴は、月曜から木曜日までの活動の中では日本語の時間と英語の時間をはっきりと切り分けていることにあります。これにより、園児は誰もが日本語脳と英語脳を切り分けてそれぞれの言語でのコミュニケーションを伸ばすことに効果が上がってきました。

年長組：現地校と同教材での学習

年長組では、E S L (English as a Second Language) の学習を基本にしつつも、現地校の Kindergarten でも使用されている Scott Foresman 社の教材も使用しながら、英語学習の基礎となる様々な語彙や会話表現を学んでいます。また、アルファベットやフォニックス、さらに Sight Words の学習もしています。



最近では、現地校の Kindergarten でも、スマートボードを使った学習を取り入れているところがほとんどです。年長組でも、歌のビデオやアルファベットの練習などでスマートボードを使い、子どもたちの興味を引き出しながら楽しく学習しています。



金曜バイリンガルの時間

昨年度より、より本格的な英語学習が始まる小学部のNY 育英学園独自の英語カリキュラム「NY 育英クロスメソッド」の橋渡し役のカリキュラムとして、幼児部にも金曜日に「バイリンガルの時間」を取り入れました。2018年度は、これをさらに進化させ、年長組はいつもは日本語で行っている朝の会と帰りの会をネイティブ英語講師のリードで英語で行っています。また、「バイリンガルの時間」は母語である日本語での活動を主体に、日本語も分かるアメリカ人バイリンガル講師が、英語でサポートしますので、「日本人の先生が日本語で言ったことは、英語ではこう言うんだ。」と子どもたちがより自然に英語に慣れていくこ

年中・年少組：オーラル中心の英語

年中および年少組では、普段日本語での園生活に必要な先生の様々な指示の言葉や、友だちとの遊びで使う表現、そして身の回りのものの言葉を英語で聞いて分かる、自分からも簡単な英語で表現できるといった、英語のオーラル・コミュニケーション力の育成を目標に置いた活動しています。実は、これも現地校で学習する内容と同じなのです。



子どもたちは「英語の時間」の中で歌やゲームをしながら新しい英語の言葉や表現に慣れ、さらに自由遊びの時間に英語講師と一緒に遊びながら実際にそれらを使う機会を設けることで、自然と英語での表現が身に付いてきたようです。



とができるよう工夫されています。また、金曜日には月1回の英語アートの時間があり、子どもたちの想像力が英語学習力の相乗効果を上げる結果につながっています。



お問い合わせ／NJ キャンパス全日制英語科アドバイザー：中川 晴美

NY 育英学園主催コンクール・展示会



夏休みの傑作が大集合

今年で第5回目となる「ニューヨーク育英学園夏休み自由研究合同展示会」。NY 育英学園の様々な部門において、小学生以上の児童生徒が夏休みの間に知恵を絞り工夫を凝らした自由研究を合同展示したい、という思いから始まった催しです。

夏休み明けに子ども達から提出された自由研究は、まず各部での発表会や展示となります。ニュージャージーキャンパスでは、全日制小学部の発表会を皮切りにサタデースクールニュージャージー校の発表などがあり、サンデースクールの作品も含めてすべてが展示されます。サタデースクールマンハッタン校では小中学部それぞれで発表会が行われ、全作品が授業日に展示されます。また、サタデースクールポートワシントン校では小学部作品が展示をされます。

今年は9月27日から10月7日までの約2週間、たくさんの皆様に鑑賞いただきました。最終日は育英バザー当日ということもあり、子ども達の作品をじっくりと時間いっぱいご覧いただいた皆様も多くいらつしやいました。ありがとうございました。

本展示会は毎年開催されますので、今年は見逃してしまったという皆様はぜひお越しください。

※学園 HP 上では過去の作品集をご覧いただけます。



展示作品の中で「創造性があり、自らの言葉と力でまとめたもの」と認められた作品には、このシールが貼ってあります。

2018年度 第5回 NY 育英学園夏休み自由研究合同展示会

～NY 育英学園夏休み自由研究合同展示会選定委員会による「いいですね!」作品一覧～

所属名	学年	児童生徒氏名	作品名
全日制 (ニュージャージー)	小1	堀 優花	「ミミズのふしぎ」
	小1	二文字 星 曉	「ぎゅうにゅうパックのリサイクル」
	小1	南場 柚希	「チョコレートケーキ」
	小2	吉田 昂	「貝のランブシェード」
	小2	原 紀鞠	「そめてみたよ」
	小2	藤井 航大	「紙ってつよいの？やわいの？」
	小3	齋藤 温希	「ハム作り」
	小3	福屋 篤	「Colosseo」
	小3	山崎 玲奈	「のこり野さいのせい長かんさつ」
	小4	三佐川 紗空	「自由の女神はどういう建どう物？」
	小4	増村 美帆	「うく？しずむ？」
	小5	秋山 遼太郎	「しょうゆの酸化はなぜおきる？」
	小5	三嶋 吉	「水泳の今と昔」
サタデースクール	N J校	小6	ウィルソン 江梨香
		小6	池上 史織
		小1	狩野 珠里
		小1	佐々木 雄理
		小2	平野 泰地
		小2	田中 壮直
		小3	吉田 真悠
		小3	田中 結
		小3	長島 華
		小4	大嶋 心夏
		小4	ネフ 清
		小4	澤瀬 亮也
		小5	高橋 花
サタデースクール	PW校	小5	高山 誠一郎
		小6	平野 文渡
		小6	菅藤 寛仁
		小6	中村 隆梧
		小1	石渡 雛子
		小1	ドネリー 瀬夏
		小1	平岡 海樹
		小1	湊谷 浩基
		小2	岩崎 巧光
		小2	内堀 里桜
		小2	熊坂 佳一郎
		小2	高田 愛奈
サタデースクール	M 校	小2	東山 祥乃和
		小3	弦巻 夕望
		小4	ドネリー 優希
		小5	井本 大
		小5	東山 祥羅希
		小5	東山 祥来社
		小5	中原 琉貴
		小1	藤代 楓
		小1	木戸 海人
		小2	丸田 泰
		小2	ラウ 到真
		小2	マーテル マエリス 実
		小3	グッドマン あみり
サタデースクール	N J校	小3	石川 隼之介
		小4	岩井 心夏
		小4	北川 昌輝
		小5	倉本 桜奈
		小5	アダムス アメリア
		小5	マーテル リディア 望
		小6	ロング 亜里沙
		小6	藤村 佳鈴
		小6	スマロー 仁子
		中2	岩村 美弥
		中2	富田 愛花里
		中2	寺井 俊太郎
		小2	小澤 航太
サタデースクール	N J校	小3	マレスコット 匠
		小3	平林 春翔
		小6	藤原 遥希
		小6	オエム 美亜
サタデースクール	フレンズアカデミー	小2	ライオン 有迦
		小1	江潮 諒
		小1	坂本 仁
		小3	高橋 智愛
		小3	テイト 創太
		小3	副島 栄華
		小3	ギースキ 純
		小4	マッコークル エイデン
		小5	ローエンバー ジュリアン
サタデースクール	アフター	小2	窪田 奏音
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
サタデースクール	ホームスクールシステム	小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織
		小2	佐藤 史織

お問い合わせ／新企画担当：牧野 佳代子

＜きりんのへや こども園＞

夏の活動を楽しみにしていた、きりんのへやの小さな子ども達は、水着での毎日の登園に大興奮でした。「せんせい、きょうは なにして遊ぶの。」「おっきな、おっきなしゃぼんだま つくるよ。」と、朝の集まりの会でも毎日子ども達はやるき満々でした。

NY育英学園のグラウンドや、当センターのアウトドアプレイエリアを使っの水遊びや、シャボン玉を使った大きなタライいっぱいあわあわ遊び、そしてカラフルで、とっても冷たいスライムを使った色混ぜ遊びなど夏ならではの時間を五感をたくさん使っていました。

このきりんのへやデイキャンプを終えて、おむつを卒業できた子、洋服の脱着が上手になった子、靴の左右が分かるようになった子、ご飯を一人で上手に食べることが出来るようになった子等、成長が随所に見られました。

2018年フレンズアカデミー・サマースクール報告

マンハッタン・アッパーウエストの新校舎に移転から第3回目を迎えるフレンズアカデミーサマースクール。期間中の参加者は100人を超え、今年もとても賑やかなサマースクールとなりました。

今年のサマースクール全体のテーマは「日本の伝統的な文化を体験しよう」でした。これとは別に幼児部、小学部の各学部毎に各週小テーマが設けられました。

特に好評だったのは第1週目の「七夕」、第5週目の「日本の食事の作法」でした。



第1週目のテーマ「七夕」の制作活動では、それぞれが「ぼくは大人になったら忍者になりたい」「お姫様になりたい」などの願いを込めての色鮮やかな笹飾りと短冊作りをしました。クッキングでは星の形を象ったフルーツ寒天作りをしました。自分たちの手で作り上げた星形寒天は格別であったようで、誰一人残すことなく完食しました。

＜語学部門＞

6月末より始まった英語サマーデイキャンプも、9月の現地校の新年度開始と共に終了しました。今年度も1st, 2nd, 3rd, 4thセッションと、子ども達のたくさんの笑顔が溢れた約2か月の間でした。

1st & 2ndセッション(各3週間&2週間)では、子ども達が、朝の登校から4時の下校まで、毎日そして一日中、英語を使って過ごすことに挑戦しました。日頃は、日本語を使って過ごしている友達や仲間と、昼食時のリラックスした会話まで英語を使うのは、少し照れくさくて、最初の数日は、「し〜ん」とした中での昼食でした。毎日の勉強や、外での活動、休み時間の英語ゲーム等を通して、友達との何気ない簡単なコミュニケーション英語がチラホラ聞こえてくると、それをさらに吸収した子ども達は直ぐに、昼食時の楽しい会話に活用して、開始から4日も過ぎれば、大きな笑い声が聞こえる、美味しい楽しい昼食の時間となっていました。これが、生きた英語とでも言うのでしょうか。英語を喋って聞いて、大笑いしている子ども達の声を聴くことが私の最大の喜びです。

3rdセッションは、午前・午後を低学年・高学年に分け、それぞれ毎日3時間のデイキ

ャンプを実施しました。授業の最初には、宿題の一つである日記をしっかり読んで発表し、全員で3rdセッションのテーマソングを歌ってキャンプの一日が始まります。このセッションのテーマは「Magic」でしたので、魔法に関係づけたアートやサイエンスをふんだんに取り入れ、興味深く、そして活動が盛り沢山の毎日となっていました。

4thセッションは、「いろは日本語デイキャンプ」もりんごラーニングセンターに加わりました。前セッションと同様に午前・午後を低学年・高学年に分け、プロジェクターやフラッシュカード等を利用し、言葉を探しをしたり、忘れていた漢字を思い出したり、お話をしっかりと声で読んだり、大きな日本語での会話が沢山聞こえました。

来年も多くの子ども達の参加をお待ちしています。



お問い合わせ／りんごラーニングセンターディレクター：半場 綾子



この他に、夏祭りの縁日、フィンガーペイント、灯籠制作、鳴子作り等、盛りだくさんの内容が行われ、子ども達は終始満面の笑顔で帰宅の途へ着く毎日でした。夏祭りの縁日の際はたくさんの子ども達が参加し、とても賑やかな1日となりました。

12月26日(水)～28日(金)

にはウインタースクールが予定されています。日本の伝統的な遊び(けん玉、めんこ、駒回し、竹馬など)やお正月にまつわる文化体験を計画しています。奮ってご参加ください。

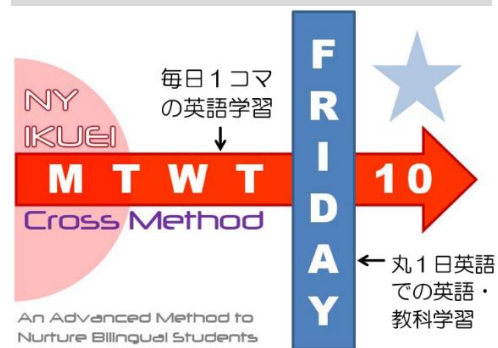
※詳細についてはフレンズアカデミー事務局まで。

電話：212-935-8535

Eメール friends.nyikuei@gmail.com

お問い合わせ／フレンズアカデミーディレクター：河野 茂

NY 育英クロスメソッド



NY育英学園では、独自のバイリンガル教育プログラム『NY育英クロスメソッド』を小学部の英語カリキュラムに導入してから、はや8年目を迎えました。

2011年度に導入したこのプログラムは、毎日1コマの英語学習と金曜日英語集中プログラムによる複合型カリキュラムを特徴としています。

NY育英学園では、小学部開設当時より毎日の英語学習をカリキュラムに取り入れてきましたが、この『NY育英クロスメソッド』導入により、英語の週の授業数はそれまでの倍の10コマになりました。さらに単に毎日英語を学習するだけでなく、金曜日は丸一日現地校のように英語で過ごす「金曜日英語集中プログラム」を取り入れたことで、他にないユニークな複合型カリキュラムを確立しました。そして、1週間の中の時間流れをとらえるならば、横軸(毎日の英語学習)と縦軸(金曜日英語集中プログラム)と縦横にまたがる十字(クロス)型となることから2014年にこのプログラムを『NY育英クロスメソッド』名付けました。

「いつまでも、すなおでやさしい ころをたいせつに！」

過去16年間、PW校とM校サタデースクール幼児部年中組の子どもたちへ、お誕生日カードのお祝いの言葉として書き続けてきました。素直で優しい気持ちを相手に向けてことで、周りの人から愛される子どもになってもいいと思うささやかな願いです。

NY私立大学 Jazz 演奏学科に、在学中の1999年より、育英学園では保育及び全日制幼児部音楽専科の指導をしています。日本で学んだ幼児教育とYAMAHA音楽教室での指導経験を生かし、二足の草鞋を履いた先生として、沢山の子どもたちの指導に携わって来ました。

4歳から音楽教室に通い始め、長い間ピアノとエレクトーンを習っていました。先生からの宿題をきちんと練習する優等生ではなく、自分の好きな曲を好き勝手に弾き、気がつけば弾きながら歌も一緒に歌っていました。自由で楽しい音楽の学び方をしていたからこそ長く続けることが出来たのでしょう。

『NY育英クロスメソッド』最大の特徴は、「金曜日英語集中プログラム」です。「金曜英語の日」という愛称で呼ばれるようになったこのプログラムでは、子どもたちを7つのレベル別クラスに分けて「聞く」「話す」「読む」「書く」の英語の4技能を集中的に伸ばすほか、理科・社会・体育・アートといった他の教科学習や様々な総合活動を英語で行います。また、朝の会や帰りの会は英語科教師が各学年の担任として入り、丸一日を英語漬けで過ごします。さらにアメリカの季節の行事に伴う活動や現地校との交流会を行ったり、ゲストを呼んで英語での講演会を行ったりと、生きた英語力を身につけることに重点を置き、その効果を上げてきました。



多様なニーズに応える

●英語学習のソフトランディングとして

英語を勉強したことがない子どもたちが、日本からアメリカに来ていきなり現地校に入ると、数カ月から数年、先生や友だちの言っていることが分からない、つらい時期を過ごすことになります。そんな子どもたちも、NY育英学園全日制では日本語の学習をメインとしつつも充実した英語教育を受けることで、負担なく英語に慣れていくことができます。

「石の上にも三年」と申しますが、楽器をある程度演奏できるようになるには、少なくとも十年の歳月が必要です。子どもの頃勝気だった私は、コンクールで自分の思い通りの演奏ができなかった事に腹を立て「もういい、止める。」と挫折しそうになった事がありました。

その時「一つの事は、最後まで続けなさい。」と、陰で支えてくれた母親に、今も心から感謝しています。もし生まれ変わり新しい人生を歩むとしても、やはり音楽と一緒に生きて行くでしょう。

子どもの目はキラキラと輝いています。それぞれ個性があるように、違った光を放っています。保育室で真っ直ぐに手を挙げ、発表する子ども。先生を目を盗み、落書きをする子ども。人前に出ると、別人のように黙ってしまう子ども。とびきり、ダンスが上手な子ども。話しかけても、なかなか返事をしてくれない子ども。それぞれが違った個性を持ち自己主張しているのだと思います。その個

●現地校にチャレンジ

せっかくアメリカにいるうちに、現地校での生活を体験して、国際人としての基礎を作りたいと思う保護者の方は多いことでしょう。最初は現地校には行きたくなかった子どもたちも、数年間学園の全日制で学習するうちに英語に自信を付け、現地校にチャレンジしています。全日制で2、3年学習し、しっかりと基本の語彙・文法・Phonicsの力を付けた子どもたちは、現地校に転校してからの英語の吸収が早いようです。



●日本帰国前の準備として

現地校生活が長かった子どもたちにとって、急に日本に帰ることになった場合、すぐに日本の学校に慣れることができるのか心配です。そんな子どもたちもNY育英学園全日制に入れば、英語力を維持・向上させつつ、日本語での学習能力をも向上させることができます。

●バイリンガル・マルチリンガルに

全日制には、日英バイリンガルの家庭であったり、日本語を家庭では話さない子どもたちも数多く通っています。そんな子どもたちも全日制の高学年までしっかりと通いながら、現地校でもESLを必要とせずにスムーズに編入を果たしているようです。

性を理解し受けとめることで、お互いの信頼関係を育て一緒に学び、成長してきたように思います。出会った子どもたちは、どんな素晴らしい本よりも沢山の事を教えてくれました。

子どもたち、有り難う！



記／NJキャンパス全日制幼児部音楽専科・育英サタデーPW校：中西 美紀

2019年度 募集要項・登録要項

部門	学部	学年	定員	募集期間	審査試験日
ニュージャージーキャンパス					
全日制デイスクール	幼児部	年少	2 6	2018 年 11 月 30 日～2019 年 1 月 7 日まで	2019 年 1 月 25 日
	小学部	小 1	2 4	2018 年 11 月 30 日～2019 年 1 月 4 日まで	2019 年 1 月 11 日
アフタースクール	幼児部	年少～年長	1 0	2018 年 11 月 30 日～2019 年 3 月 29 日まで	随時
	小学部	小 1	1 2	2018 年 11 月 30 日～2019 年 3 月 29 日まで	随時
サタデースクールN J 校	幼児部	年中	2 4	2018 年 11 月 30 日～2019 年 1 月 5 日まで	2019 年 1 月 19 日
	小・中・高	小 1～高 2	若干名	ウェイティングの部門・学年もありますので、お問い合わせください。	随時
サンデースクール	幼児部	年中～年長	2 0	2018 年 11 月 30 日～2019 年 1 月 6 日まで	2019 年 1 月 20 日
	小学部	小 1～小 6	若干名	ウェイティングの部門・学年もありますので、お問い合わせください。	随時
いろはにほんご教室	国語クラス	小学生	8 名	学年についてはご相談ください。	なし
	日本語クラス	小学生	8 名	学年についてはご相談ください。	なし
	Nihongo	小学生	8 名	学年についてはご相談ください。	なし
りんごラーニングセンター					
きりんの部屋 こども園	2 歳半～年長		3 0 名	異年齢クラス	
親子クラス	1 歳以上、2 歳程度		1 0 名	1 歳以上（火・木）・2 歳程度（水・金）	
語学部門	幼児～大人				
マンハッタンキャンパス					
サタデースクールM校	幼児部	年中～中 3	1 8	2018 年 11 月 30 日～2019 年 1 月 5 日まで	2019 年 1 月 19 日
	小・中	小 1～中 3	若干名	ウェイティングの部門・学年もありますので、お問い合わせください。	随時
フレンズアカデミー					
＜週口クラス（月～金）＞					
全日制たんぽぽ幼稚園	幼児部	年少～年長	1 5	2018 年 11 月 30 日～2019 年 1 月 4 日まで	2019 年 1 月 24 日
親子教室	およそ 1 歳から 3 歳未満		7 組		
幼児教室いちご組	幼児 3 歳以上の未就学児		1 2		
＜アフタークラス＞					
いろはにほんご教室（日本語基礎教室・国語教室・Japanese Lesson for Adult）、国語算数教室、書道教室、音楽教室（ピアノ・バイオリン・ギター）、プライベート・セミプライベートチュータリング					
＜ウィークエンドスクール＞					
幼児教室 I ・ II、いろはにほんご教室（日本語教室・国語教室）、国語算数教室、ピアノ教室					
ポートワシントンキャンパス					
サタデースクールPW校	幼児部	年中	2 4	2018 年 11 月 30 日～2019 年 1 月 5 日まで	2019 年 1 月 19 日
	小中高	小 1～高 2	若干名	ウェイティングの部門・学年もありますので、お問い合わせください。	随時
アフタースクールPW校	平日アフター特別国語教室		小学 1 年生～中学 3 年生		
	いろはにほんご教室		土曜日国語クラス、アフター作文教室		

・ウェイティングを受付中の部門・学年もありますので、お申し込み前にはまずはお問い合わせください。

～NY育英学園NJキャンパス全日制における英語教育～

NY 育英学園全日制小学部では、2011 年度より英語の授業数を週あたり 10 コマに増やし、英語やその他の教科や様々な総合学習を英語で行う「金曜一日英語の日」を導入しています。月曜日から木曜日の毎日 1 コマの英語学習に加え、金曜日は英語科教師が担任として授業もホームルームも全て英語で行うという金曜一日英語集中プログラムの二本立てによるあ「NY 育英クロスメソッド」を確立し、その効果をあげています。この NY 育英学園独自のメソッドにより、日本からアメリカに来て、英語をあまり勉強したことがない子どもたちにバイリンガル教育を提供し、現地校にチャレンジできるようにする現地校へのソフトランディングをサポートしたり、現地校生活が長かった子どもたちに英語力を維持しつつも日本語による学習能力を身につ

けながら日本式の学校生活に慣れることが出来るようにする日本帰国へのソフトランディングも応援しています。

また、全日制幼児部では、母語である日本語を育みながらも、英語により慣れ親しむため、2017 年度からは英語の時間を増やしました。毎日英語の時間を設けると共に、英語でのアートの時間を設けたり、年長と年中は金曜日にバイリンガルの時間を設けたりなど、小学校からの金曜一日英語の日の準備過程を設けることで、幼児部のうちから英語での生活にも慣れることができるようなシステムとなっています。金曜日のバイリンガルの時間では、アメリカ人の先生が日本人の先生のアシスタントとして入り、様々な活動を英語でサポートしますので、子どもたちは日と英語のシャワーと一緒に浴びることになります。



お問い合わせ／事務主任：園田 稚香



第6回 アメリカサマー留学



～日本全国被災地支援 招待企画 2018～

ニューヨーク育英学園では、東日本大震災発生後より、被災した子ども達の為に支援活動を行なっております。震災により親を失った子ども達のための支援活動及び、ケア施設『レインボーハウス』の建設に協賛し、集まった義援金をあしなが育英会へ、現在も引き続き寄付しております。

また、義援金活動だけでなく、被災した子ども達と直接関わり、本学園ができる支援活動として、学園が主催する『育英サマーデイキャンプ』に東北被災地の児童 2 名を 2013 年夏、初めて招待しました。あしなが育英会のご協力により、子ども達は有意義な時間をアメリカで過ごし、たくさんの思い出を作ることができました。

翌年以降も継続し、2017 年度は、九州地方の被災地も対象に上げ、さらに青少年を対象として本学園サマー宿泊キャンプへボランティアスタッフとして招待いたしました。2018 年度以降はさらに、日本全国の被災地を対象に上げました。

第 6 回を迎えた今夏は、小学 5 年生の女子児童を 2 名を東北から招待いたしました。二人は例年と同じく育英サマーデイキャンプの後期に 1 週間参加しました。キャンプでは水泳や育英カップ、理科実験など様々な活動を楽しみました。工作の時間では、世界に一つだけの手作りオルゴールを作りました。



フィールドトリップでは、みんなでベアマウンテン動物園＆博物館に行きました。地域に生息する動物を観察したり、郷土の歴史にふれたりして、子ども達は終始驚きと喜びに満ち溢れていました。

言葉の時間では、現地の子ども達と一緒に英語の授業を受けて、最終日には全員の前で英語で発表をしました。

放課後や休日には NY&NJ 観光をしました。自由の女神や、タイムズスクエア、セントラルパーク、メトロポリタン美術館やヤンキーススタジアムでの試合観戦など、時間の許す限り楽しい思い出をたくさん作りました。週末に自然豊かなキャンプエリアでキャンプをしたり NY 以外の州へ旅行したりするなど、アメリカならではの体験をしました。



本企画では、様々な団体・企業の皆様よりご支援をいただいております。本年度は IACE Travel 社、NYK ライン（ノースアメリカ）社、JAL 日本航空社、Daily World Press 社、Y's Publish 社、NY 日系人会等の企業の皆様や、個人の方に多大なるご支援をいただきました。誠にありがとうございました。また本学園に在籍されているご家庭にホストファミリーとしてホームステイにご協力いただいております。今年度も 2 家庭より、大変温かいおもてなしを頂きました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本学園では、今回初の試みとして 2018 年春に本企画における招待留学生の渡航費用（半額分）として 25 万円を目標金額としてクラウドファンディングに挑戦して参りました。目標金額の 68%までご支援を頂きましたが、残念ながら期限までに目標に達せず、クラウドファンディング会社の規定により、ご支援頂いたご寄付は全額、支援頂いた皆様に返却されることになりました。

ご家族、ご勤務先、お知り合いの方々に情報を広めていただいた方、温かいご支援をいただいた方、誠にありがとうございました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。皆様のお気持ちが大変嬉しく励みになりました。

今回はいただいた応援にお応えすることができませんでしたが、他方面からの温かい皆様のご協力ご支援に助けられ、招待留学生たちは大変充実した夏をアメリカで過ごすことができました。

来年も本企画を引き続き実施いたしますので、皆様のご支援をお願い申し上げます。



ニューヨーク育英学園では、震災被害に遭った日本の子ども達への支援を一時的なものとせず、今後も継続して「アメリカサマー留学」企画を実施して参る所存です。本企画へのご支援は、年間を通して受け付けております。招待児童・青少年の航空券をはじめ、使用目的を指定しての寄付も可能です。NY 育英学園は米国非営利団体（IRS501 (C) (3)）として認定されており、米国での税金控除の為の証明書を発行できます。団体や企業の皆様、在籍家庭の皆様、また本企画へご賛同いただける個人の皆様からの温かいご支援ご協力をお待ちしております。何卒よろしく願い申し上げます。

留学生からの御礼のお手紙より（抜粋）

「とてもすてきな経験をありがとうございました。野球の試合は、ホームランを見たり、はく力があってすごかったです。長いフライト時間のサポートありがとうございました。この夏の一番の思い出をありがとうございます。この思い出をいっしょうわすれません。」

「このたびは、みなさまのご支援のおかげで、すてきなサマーリゅう学を過ごすことができました。本当にありがとうございました。サマーリゅう学では、ふだんできないような体験をたくさんさせていただきました。初めて飛行機に乗ったことや自由の女神を見たこと、学校で友達と遊んだことなどどれも大切な思い出です。」



ASHINAGA
あしなが育英会

DAILYSUN
NEW YORK

NYK LINE
NIPPON YUSEN KAISHA

JAL
JAPAN AIRLINES

IJFCE IACE TRAVEL

107 Years of Community Service
★ 助け合って107年 ★

お問い合わせ／サマー留学担当：岡田 幸子・山田 亜香里



育英サマーデイキャンプ

6月25日(月)から前期3週間、後期2週間の計5週間、7月末まで幼児部・小学部サマーデイキャンプが緑豊かなNJキャンパスで開催されました。

【幼児部】の今年のテーマは前期が「日本の田舎へ行こう」、後期が「絵本の世界に入ろう」でした。

「よう来なさった」の挨拶で始まった前期「日本の田舎へ行こう」は、水開き、そうめん流し、たくあん作り、手作りせっけん、七夕の笹飾り作り、風鈴作り、どろんこ遊び、そして縁日ごっこ、日本の田舎が盛りだくさんでした。また、子どもも大人も大好きな移動動物園を運動場で開園し、牛、ラマ、アルパカ、山羊、七面鳥、アヒル、ひよこなど、30匹以上の動物達に触ったり、抱っこしたりとふれあい体験を楽しみました。続いて後期の「絵本の世界へ入ろう」はグループ名も「ぐるんぱ」、「がらがらどん」です。毎日を絵本のテーマで過ごしました。例えば「こぐまちゃんのみずあそび」で水遊び、「ぼくんちカレーライス」でクッキング、「だるまちゃんとてんぐちゃん」でうちわ作りといった具合です。子ども達は夢中で絵本の世界を駆け巡りました。

【小学部】の今年のテーマは幼児部を発展させて、前期は「日本の風景」、後期は「物語の世界」でした。日本の風景と言えば、やはり富士山。その他、お月見の団子、鳥居、竹林にたけのことといった日本の風景が飾られました。また、物語の世界では、一寸法師やかぐや姫などの子ども達に親しみのある物語の場面を描いた様子を廊下に掲示して、子ども達を物語の世界へいざないました。毎日の朝の集いでの日本の季節の童謡／歌に始まり、育英オリンピック、日本語／英語の選択制言葉の学習、おもしろ理



デイキャンプ中、放課後にオプションとして午後4時から5時30分まで「サマー野球教室」と日本語教室「サマーいろはにほんご教室」が開催されています。

サマー野球教室

NY育英学園のサマー野球教室は、野球の技術向上はもちろんのこと、マナーや礼儀、道具の扱い方を学ぶ機会でもあります。毎回の練習の最後には全くの初心者から普段から野球チームに入っている子までが安全に楽しめるように特別ルールを設けて、全員が投打に活躍できるように工夫しています。



宿泊キャンプ レイクグリーリーキャンプ場

今年も小中学生28名が6月24日から7月8日まで、ペンシルバニア州にあるレイクグリーリーキャンプ場で2週間の宿泊キャンプに参加しました。50年以上の歴史ある同キャンプをニューヨーク育英学園が利用して今年で23年目。キャンパーをはじめ、スタッフはアメリカ国内だけでなく、ヨーロッパや南米など世界中から集まってきました。これら様々なスタッフとの交流ができるのもこのキャンプの魅力です。また、男女一名ずつ学園の教師が同行し、子ども達と寝食を共にし、子ども達が不安なく楽しめる様にサポートします。また、キャンプ場のプログラムに加え、学園独自の日本語によるプログラムも用意しています。広大な敷地にはプール、サッカー場、野球場、テニスコート、劇場、アーチャー場、空中ブランコ、乗馬場、大型体育館などたくさんの施設があり、60ほどのアクティビティから、それぞれ専門のカウンセラーの指導を受けることができます。



サマーいろはにほんご教室

サマーの間だけでも日本語を学ばせたい、強化したい等のご要望を受け、3年前よりサマーデイキャンプの放課後プログラムとして開始した教室です。昨年、今年とお申し込みが増えており、参加した子ども達は確実に日本語力を伸ばし、活動を楽しんでいます。

日本語能力に応じて3つのクラスが用意され、参加者の学年や人数、日本語レベルに応じて臨機応変に学習内容に工夫が盛り込まれています。

今年は日本から取り寄せた課題図書を読んで読書感想文を仕上げたとともに、硬筆(文字指導)、漢字検定や日本語検定への問題挑戦、俳句づくりなど、様々な日本語を軸とした活動を行いました。取り組んだ作品は対象となるコンクールへ出品され、入賞を果たすなど、結果が成果へとつながっています。



お問い合わせ／NY育英学園事務局長：上妻 雅浩

スペインより NY 育英へ歌姫達訪問

9月14日、ニューヨーク育英学園にスペインより歌姫の合唱団が訪問した。過日マンハッタンにて行われた「風の環コンサート」に参加したトマーレス少女合唱団の中学生・高校生15名とその関係者が学園小学部の「ニューフレンズデー」に現れ交流会が行われた。

同少女合唱団の出身地セビリヤ地方は約400年前に仙台藩主伊達政宗が派遣した慶長遣欧使節のさむらい達の末裔「ハボン(日本)さん」達が多く住むところとして知られている。同合唱団の指揮者マリアエレナさんの夫もハボンさんで現地にある「ハセクラ・ハボン協会」の会長である。

交流会の初めに岡本徹学園長よりスペイン語での歓迎の挨拶があり少女合唱団に笑顔が見られた。学園児童には今回の訪問はニューヨークを初めて訪ねた合唱団が、風の環チャリティーコンサートで共演するニューヨーク育英学園への訪問を希望して実現したことが説明された。

学園の子ども達から得意な「ドレミの歌」等数曲が披露されたあと、スペインの子ども達も「赤とんぼ」等をまじえて素晴らしいハーモニーで英語やスペイン語の曲やフラメンコ風ダンスが発表された。その後一緒に日本語で「赤い花・白い花」の合唱となり、素晴らしい歌声のコンサートとなった。

後半は校庭に出たアクティビティとなった。同学園のダブルダッチチームメンバーが2本のロープで妙技を披露。スペインからの客人たちも我も我もとダブルダッチを跳び始めた。日本の子、スペインの子がやんやの喝采で応援する和やかな交流会となった。握手、ハグでの別れで「アディオス」「サヨウナラ」「シーユーアゲイン」「アスタラビスタ」と再会を誓い合った。

今回の交流会はNPO風の環コンサートの代表、白田正樹先生のご協力により実現した。「NPO風の環コンサート」は米同時多発テロをきっかけに始まったコンサートで、今年が



第11回目となっている。ニューヨーク育英学園のサタデースクール、マンハッタン校、ポートワシントン校、フレンズアカデミーの子ども達多数も、メルキンホールで開催された同コンサートに参加した。スペインからの歌声も加わり、400年の時空を超え、今、ニューヨークの子ども達の頭上にその交流の環は広がっている。

学園長の一言



以前私は支倉常長一行に取り残された400年前の武士たちに非常に同情的で悲劇をイメージしていました。しかし陽気で素直なスペインのセニョリータ達と会ってみて考えが変わりました。温かい人達に迎えられる、スペインの大地に残った彼らは決してかわいそうなサムライたちではなかった。たぶん人生を十分に楽しんだのではないかと思います。

今回の交流会によって学園の子ども達は世界の共通語は英語だけではないと感じ、将来スペイン語も学びトライリンガル、マルチリンガルの人材が増えるのではと感じました。



お問い合わせ／NY育英学園学園長：岡本 徹



New Jersey キャンパス (イングルウッド・クリフス)

8 West Bayview Avenue, Englewood Cliffs, NJ 07632
Phone: (201)947-4832 Fax: (201)944-3680
E-mail: Info.nyikuei@gmail.com

全日制デイス쿨 幼児部／小学部

幼小一貫全日制教育
日本の文部科学省のカリキュラム準拠+ESL&現地校英語

- (幼児部) NY 育英プリクロスメソッド**
毎日の英語の時間+金曜日のバイリンガルの時間 (年長・年中)
英語でのアートの時間
- (小学部) NY 育英クロスメソッド**
毎日1時間の英語+金曜日1日英語=週10コマの英語
1週間の1/3が英語学習
充実の7段階の習熟度別の英語クラス編成
ネイティブレベルは現地校のランゲージアーツの教科書を使用

- 幼児部**
年少組、年中組、年長組、
ゆり組 (ウェイトイング特設クラス)
- 小学部** 小学1年～小学6年
- 様々な放課後クラブ活動**
(幼・小) サッカークラブ、水泳クラブ、
ダブルダッチクラブ、ダンスクラブ、体操クラブ
(幼児部のみ) ボール遊び、ベビーシッター
(小学部のみ) 野球クラブ、ボードゲームクラブ、自習室

アフタースクール

幼児の教室 (つばめクラス)
小学生の国語・算数教室
E S L (年少～小学6年)
ピアノ教室 空手教室 合唱部
書道教室 ダブルダッチ (チーム)
幼児おんがく教室 (年少～年長)
いろはにほんご教室
→E-mail: IROHA.nyikuei@gmail.com

日曜プログラム

育英サタデースクールニュージャージー校

- 幼児部 (年中、年長)
・ベビーシッター
小学部 (小学1年～小学6年)
・野球部、サッカー部、卓球部、室内球技部、アート部、
ダンス部、書道部、自習室
中学部 (中学1年～中学3年)
・中学部活動、書道部、自習室
高等部 (高校1・2年)
・国語・数学コース
・社会科 (現代社会・日本史) ※選択制として導入

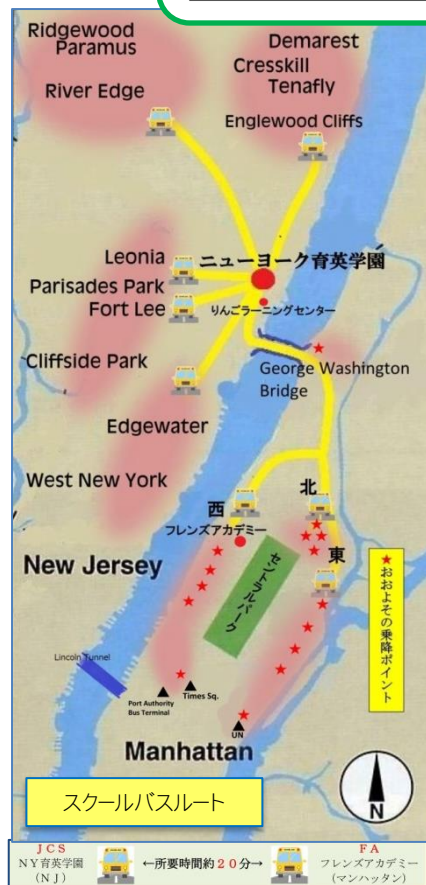
育英サマーキャンプ

E-mail: SummerCamp.nyikuei@gmail.com

サマーキャンプ (宿泊) サマーデイキャンプ
サマー野球教室 サマーいろはにほんご教室

マンハッタンからバスをご利用の場合

- ★Port Authority Bus Terminal から
NJ Transit →156 番
Coach USA →9 T A 番
- ★George Washington Bridge Bus Terminal から
NJ Transit →186 番
Coach USA →9A 番
- 詳細は学園ホームページをご覧ください。



育英サンデースクール

E-mail: SunNJ.nyikuei@gmail.com

- 幼児部 (年中、年長)
・(幼小同室にて) ベビーシッター・自習室
小学部 (小学1年～小学6年)
・(幼小同室にて) ベビーシッター・自習室

日曜プログラム

日曜ピアノ教室
日曜バイオリン教室
日曜野球教室 (春・秋)
自習室+ (ぶらり)
日ようびは日本語であそぼう (2歳半～年長児)
→E-mail: Nichinichi.Asobo.nyikuei@gmail.com
いろはにほんご教室
→E-mail: IROHA.nyikuei@gmail.com
日曜ダブルダッチ
日曜 寺子屋アカデミー
(書道、そろばん、理科実験、アート、料理教室)
→E-mail: Terakoya.nyikuei@gmail.com

育英スキーキャンプ

E-mail: Ski.nyikuei@gmail.com

日帰りスキー教室 (12月～2月)
宿泊スキーキャンプ (12月、2月)

フレンズアカデミー (アッパーウエスト)

全日制プリスクール (NY州認可)

たんぽぽ幼稚園

E-mail: PreschoolFriends.nyikuei@gmail.com

- 幼児部**
年少組、年中組、年長組

週日クラス (月曜日～金曜日)

E-mail: Friends.nyikuei@gmail.com

- 親子教室ひよこ組 (おおよそ1歳～3歳未満)**
■**幼児教室いちご組 (3歳以上～年長児)**

アフタークラス

- いろはにほんご教室**
日本語基礎教室 (3歳～年長児)
国語教室 (小学1年～高校2年)
Japanese Lesson for Adult
- 語学部門**
英検対策講座 (1次・2次)
プライベートチュータリング (小学1年～高校生)
プライベートレッスン (大人)
- 書道教室 (4歳～大人)**
■**音楽教室<ピアノ・バイオリン・ギター> (3歳～大人)**
■**どれみふぁクラブ (3歳～年長児)**
■**うんどうクラブ (3歳～年長児)**

ウィークエンドスクール (土・日)

E-mail: WeekendFriends.nyikuei@gmail.com

- 幼児教室 I・II (3歳～年長児)**
■**国語算数教室 (小学1年～6年)**
■**いろはにほんご教室**
日本語教室 (小学生以上)、国語教室 (小学1年～高校2年)
- 語学部門**
英検対策講座 (1次・2次)
- 音楽教室<ピアノ・バイオリン・ギター> (3歳～大人)**

育英ホームスクールシステム支部 (NYエリア受付)

育英サタデー・サンデースクール準拠コース 個別カリキュラムコース
幼児訪問コース 英語指導コース 書道コース
E-mail: Homeschool.nyikuei@gmail.com

その他のイベント

- 季節プログラム**
春→親子スプリングスクール
夏→親子サマー、幼児サマー、小学生サマー
冬→幼児ウィンタースクール
- 日ようびは日本語であそぼう (2歳半～年長児)**
■**子育て支援広場「ぼっぽ」 (未就園のお子さま)**
E-mail: Kosodate.nyikuei@gmail.com

りんごラーニングセンター (フォート・リー/NJ)

- プレイグループ親子教室 (おおよそ1歳から)**
親子一緒クラス (ひよこ組) 親子分離クラス (うさぎ組)
おひさまクラブ 土曜日 親子体験イベント
- きりんのへや こども園 (NJ州認可)**
日本語による長時間保育 (2歳半から)

- 語学部門**
<子ども向け>
英検対策講座 (1・2次)
プライベート・チュータリング
(ESL、現地校支援、各種テスト対策)
スタディールーム
アフター・サタデー英語補習教室 (幼～小6)
- <大人向け>
英会話、TOEIC クラス
プライベート・チュータリング
書道教室
Japanese Lessons (JSL/JFL)
JLPT Prep Course

Welcome to America 集中 ESL クラス
いろはにほんご教室 (プライベート)
りんごいろは週末こども日本語基礎教室
Japanese Lessons (JSL/JFL)

- サマープログラム**
きりんのへやサマースクール
りんご英語サマーデイキャンプ (4セッション) りんごサマープライベート (英語・日本語)
りんごいろは日本語サマーデイキャンプ

- 育英ホームスクールシステム 本部 (NJエリア受付)**
育英サタデー・サンデースクール準拠コース 個別カリキュラムコース
幼児訪問コース 英語指導コース 書道コース
→E-mail: Homeschool.nyikuei@gmail.com

- 検定部門** →E-mail: Kentei.nyikuei@gmail.com
実用英語技能検定 →E-mail: Eiken.nyikuei@gmail.com
日本漢字能力検定 実用数学技能検定 **TOEIC**
日本語検定 硬筆・毛筆書写技能検定試験

2460 Lemoine Avenue, #103, #104, #105, Fort Lee, NJ 07024
Phone: (201)947-4707 E-mail: Ringo.nyikuei@gmail.com

2018年度 NY 育英学園主催 日帰りスキー教室&宿泊スキーキャンプ



NY 育英学園アフタースクール部門では、今年も PA 州キャメルバックリゾートにて日帰りスキー教室&宿泊スキーキャンプを開催します。

初心者クラスでは序盤にはベルトコンベアエリアにて指導をします。ゆるやかな斜面のグレンデで転倒後の起き方、スキー板の運び方から指導し、ボーゲンの指導もします。初級ではリフトに乗りボーゲンにて初級コースを周回、団体行動における安全な止まり方や大回りの習得をします。リフトに乗るのが怖い子どもはスタッフと同乗します。中級では高速リフトに乗り「ブルースクウェア」という中級者向けのコースを周回しま

す。初級より急な斜面にてコース周回を繰り返し、止まり方、ターンの指導を行います。

上級クラスでは高速リフトで「ブルースクウェア」や最上級難易度の「ブラックダイヤモンド」にも挑戦します。パラレルターンなどの高度なテクニック指導をメインに行います。急な斜面が不安といった子どももいる時には中級グループと合同に指導を行うこともあります。

スノーチュービングも人気です。スノーチュービングとはタイヤの上に乗って行う滑り台のようなアクティビティです。

宿泊する部屋はとても広く、全フロアトイレ・バス付きでとても温かな造りです。広いリビングで毎回の食事をします。同じ部屋の子ども達はとても楽しく生活に共にできます。男女別にキャビンを貸し切り、各キャビンごとに指導員を配置します。又このキャビンはグレンデと隣接しておりすぐにスキーを開始することができます。



【日帰り&宿泊スキーキャンプ日程】

日帰りスキー教室

2018年12月16日
2019年1月6日
2019年1月13日
2019年1月27日
2019年2月10日
参加対象: 小学1年生から中学3年生
定員: 各回40名

宿泊スキーキャンプ

2018年12月26～29日: 定員40名
2019年2月18～21日: 定員20名
参加対象: 小学3年生から中学3年生

- ★ 初心者からでも安心してご参加いただけます。お友達と冬の思い出をつくりましょう。
- ★ 申し込み状況等はホームページからもご確認いただけます。
- ★ お問い合わせ先
メール: Ski.nyikuei@gmail.com
電話: 201-947-4832 (NJ校)

お問い合わせ/NJキャンパスアフタースクール・クラブディレクター: 加藤 義隆